

Monthly Report

2024年1月号

特集

道路標識を意識しましょう

運転者は、さまざまな道路標識を見ながら運転しています。安全運転にはそれら道路標識について正しく理解している必要があります。もしも運転中に道路標識を見落とししたり、その意味が分からなかったりすると、交通違反をしてしまったり、交通事故を起こしてしまうといったことに繋がる可能性があります。

そこで、今回は道路標識について考えたいと思います。



1. 道路標識の種類と役割

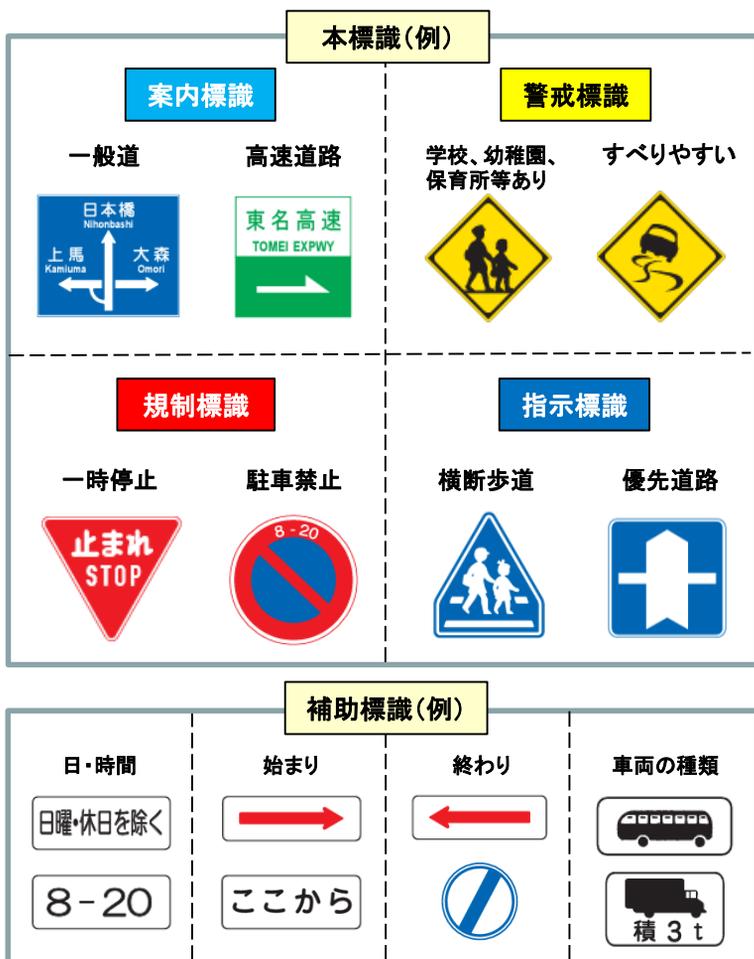
道路標識には本標識4種類と補助標識があります。

案内標識は、地名や距離などを示して通行の便宜を図ります。警戒標識は、道路上の危険や注意すべき状況などを運転者に知らせ注意を促します。規制標識は、特定の交通方法を禁止、または指定します。指示標識は、特定の交通方法や道路交通上決められた場所などを指示します。

そして、補助標識は、本標識と合わせて取り付けられ、規制等が適用される時間や区間、自動車の種類などを特定し、規制内容を補足します。

道路上には多種多様な道路標識があり、歩行者や車が道路を安全かつ円滑に利用するうえで重要な役割を担っています。

したがって、運転者一人一人が道路標識を意識し、その意味を正しく理解して交通ルールを守ることが大切です。



2. 間違いやすい道路標識

一見、似ている道路標識でも意味が異なります。例えば、以下の道路標識などは間違いやすいとされている標識です。

<p>駐車禁止</p> <p>交通量が多く、交通の危険が生じやすい場所等に設置されています。</p>	<p>車両通行止め</p> <p>主に歩行者専用道路に設置されています。</p>	<p>横断歩道</p> <p>横断歩道があることを示すものです。</p>	<p>学校、幼稚園、保育所等あり</p> <p>子どもの飛び出し等への注意を促すために設置されています。</p>
<p>車両進入禁止</p> <p>主に一方通行の出口に設置されています。</p>	<p>車両通行止め</p> <p>主に歩行者専用道路に設置されています。</p>	<p>幅員減少</p> <p>これから道幅が狭くなる場所に設置されています。</p>	<p>車線数減少</p> <p>これから車線の数が減る場所に設置されています。</p>
<p>一方通行</p> <p>一方通行であることを示すものです。</p>	<p>指定方向外進行禁止</p> <p>矢印の方向以外への進行を禁止するものです。</p>	<p>駐車禁止の始まり</p> <p>規制が始まる場所に設置されています。</p>	<p>駐車禁止の終わり</p> <p>規制が終わる場所に設置されています。</p>

3. 道路標識を意識しましょう

道路標識を間違っ理解していたり、運転中に標識を見落としたりすると、交通違反や交通事故の原因となる可能性があります。標識の意味が分からない時は交通教本等で確認することが大切です。運転中は道路標識に意識を向けるようにして、安心・安全・快適なドライブを楽しみましょう。

全日本交通安全協会「わかる 身につく 交通教本」 <https://www.jtsa.or.jp/about/teaching.html>

国土交通省「道路標識一覧」 <https://www.mlit.go.jp/road/sign/sign/douro/ichiran.pdf>



損害保険ジャパン株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
 <公式ウェブサイト> <https://www.sompo-japan.co.jp>

SOMPOリスクマネジメント株式会社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-24-1
 <公式ウェブサイト> <https://www.sompo-rc.co.jp>

お問い合わせ先

アイシン開発株式会社
 保険サービス事業本部
 コーポレートリスクソリューション部
 E-mail:hoken@aisin-ad.co.jp